

29ここからはじめるBCP(事業継続計画)セミナー〈入門編〉

JMA100556

1日

初めてBCPを作る組織がつまづきやすいポイントを解説し、簡易かつ効果的なBCPの作り方を解説。

- 対 象
- これからBCPを策定する新任の責任者・担当者の方々
  - BCPのスキルがなく、予算も人もつけてもらえず、独力でBCPを策定している担当者

講 師

秋月 雅史

inKrone(株)(インクローネ)  
コンサルティング事業部 本部長



- 会 期
- 2025年 6月23日(月) [オンライン]
  - 2025年 8月25日(月) [東京]
  - 2025年11月19日(水) [オンライン]
  - 2026年 2月16日(月) [東京]

参加料  
(税込)

日本能率協会法人会員	41,800円／1名
JMAでISO審査を受けている企業	41,800円／1名
上 記 会 員 外	47,300円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。  
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください)

- プログラム
- 10:00～17:00(昼休み/12:00～13:00)
- 1 オープニング
- 2 BCPの概要と現状
- BCPのあるべき姿とは
  - 日本企業におけるBCPの課題ー東日本大震災の経験を振り返って
- 3 BCPが作れない3+1の理由
- 4 動くBCPの戦略
- 企業戦略とBCPの基本的考え方
  - BCPを事業戦略の一環として組み込むための具体策とは
  - 演習** BCP戦略の選択／適用範囲の選択／ BCP方針の決定
- 5 動くBCP作成の3+1のポイント
- 経営層が立てた事業継続方針を実装するためのBCP作成
  - 災害時に機能を発揮できるBCP作成の3+1のポイント
  - 演習** 結果から考える練習/操業度の設定/操業度に応じた復旧プラン作成
- 6 動くBCPに必要な安全配慮義務対応
- 事業継続計画に、安全配慮義務を組み込むための具体的な手順
  - 演習** 安全配慮義務への対応度チェック

※内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

30次にやることBCP(事業継続計画)セミナー〈深掘り編〉

JMA100557

半日

現状のBCPの課題を客観的な評価基準で確認・採点したうえで、BCP性能向上のための具体的な施策を提示する。

- 対 象
- 自社のBCPに有効性・実効性が足りない部分があるとお考えの担当者

講 師

秋月 雅史

inKrone(株) (インクローネ)  
コンサルティング事業部 本部長

菅野 達雄

アズビル(株)  
スマートファシリティマネジメント部  
営業企画グループ マネージャー

- 会 期
- 2025年 9月 9日(火) [オンライン]
  - 2026年 3月 3日(火) [オンライン]

参加料  
(税込)

日本能率協会法人会員	37,400円／1名
JMAでISO審査を受けている企業	37,400円／1名
上 記 会 員 外	41,800円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

- プログラム
- 13:00～17:00
- 1 オープニング
- 2 日本のBCPの歴史
- 日本のBCPの特徴
  - 世界のBCPの特徴
  - 日本固有のBCPの課題
- 3 BCPの深掘りが難しい5+1の理由
- あらゆる業務停止に対応できているか?(実効性)
  - ダメージコントロールは万全か?(実効性)
  - 復旧方法は手順書になっているか?(実効性)
  - 教育と訓練は十分に実施しているか?(実効性)
  - BCP定着のための横串組織はあるか?(実効性)
  - ファシリティ毎の復旧手順はあるか?(実効性)
- 4 **演習** BCPの成熟度チェック
- 演習** 災害対策本部運用手順
- 演習** 訓練実施方法、他
- 個社ごとのBCP成熟度チェック
  - 具体的課題の抽出
  - 災害対策本部の手順
  - 災害時に有効な情報処理方法
  - 有効な訓練の実施方法
  - BCPを後押しする横串組織
- 5 ファシリティBCP
- オフィスビル・工場・物流倉庫等のファシリティの具体的復旧手順
- 6 **演習** ファシリティ復旧手順作成
- ファシリティレベルの復旧手順の作成方法

※内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

31目からウロコの「CSR超基礎」研修

JMA150572

4時間

- ◆本研修は、下記の感覚(症状)をお持ちの方には、特にご受講をおすすめします。
  - CSRは、'社会貢献や寄付・寄贈' のことである
  - CSRは専門性が高く難解で、カタカナ・アルファベットが飛び交うので、苦手意識が強い
  - 長らくCSRをやっているが、何かモヤモヤしている。自分が腹落ちしていないので、社内でうまく説明できない
  - 最近、CSR・サステナビリティ部門の担当になったが、何から手をつけていいかわからない
  - CSRは社内で定着した感はあるが、「コンプライアンス」や「社会貢献」にとどまっている
  - CSRが大事なのはわかっているが、経費はかかるし仕事の負荷や足かせになる
  - CSRが競争力になるとか、ブランドや企業価値に効くというが、つながりがわからない
  - ビジネスパーソンとして、「CSR」や「ESG」、「SDGs」を勉強しておきたいが、専門部署向けの本やセミナーばかりで困っている
  - 中期経営計画など経営戦略にCSRを組み入れたいが、切り口がつかめない
  - CSRやCSVやESGやSDGsなどが、ゴチャゴチャになっている

講 師

細田 悦弘

(一社)日本能率協会 主任講師



参加料  
(税込)

日本能率協会法人会員	37,400円／1名
JMAでISO審査を受けている企業	37,400円／1名
上 記 会 員 外	41,800円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

- 対 象
- CSRを“楽しく”学んでみたい方
  - CSRって何?と、今さら聞けないと戸惑っている方
  - 今どき、CSRやESGくらい知っておいた方がいいと感じている方
  - なんとなく、CSRやSDGsに興味はあるが、一歩踏み出せない方
  - CSRに苦手意識を持っている方、すでにあきらめてしまった方
  - もっと、仕事やプライベートのクオリティを高めたい方
  - 視野を広げたい方、新しい視点がほしい方
  - これからの生き方の座標軸の一つをつかんでみたい方

- 会 期
- 2025年 6月18日(水) [オンライン]
  - 2025年10月 7日(火) [オンライン]

- プログラム
- 10:00～15:00(昼休み/12:00～13:00)
- 1 プロローグ
- CSRトピックス
- 2 “リスク回避”のためのCSR
- CSRでメシが食えるか? CSRをないがしろにしているとメシが食えなくなる
  - 目先の利益は大事。ただ、目先の利益を続けていきたいなら、CSRが要る
- 3 競争力につながるCSR/SDGs
- 「コスト」から「投資」になったCSR
  - 時代の変化は脅威ではなく、“商機 (明日の商売のネタ) ”である
- 4 本日の振り返りと質疑応答

※内容は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

321日で学ぶ「CSRブランディング」エッセンシャルコース

JMA22031

1日

- ◆ビギナーの方でも、楽しく「CSR、CSV、ESG、SDGs」を体系的・本質的に学べる。
- ◆「CSRブランディングメソッド」について、グループワークを通じて、知識が整理され、自社内での実践活用の切り口が見出せ、競争優位を、持続的成長・企業価値向上につなげるストーリーや施策が学べる。

- 対 象
- 経営者・次世代経営層、経営幹部の方
  - 経営企画、広報、IR、ESG、CSR、法務、総務、人事、ブランドマネジメント、マーケティング担当部門

講 師

細田 悦弘

(一社)日本能率協会 主任講師



- 会 期
- 2025年 7月15日(火) [オンライン]
  - 2025年11月18日(火) [オンライン]

参加料  
(税込)

日本能率協会法人会員	41,800円／1名
JMAでISO審査を受けている企業	41,800円／1名
上 記 会 員 外	47,300円／1名

※テキスト(資料)費が含まれております。

- プログラム
- 10:00～17:00(昼休み/12:00～13:00)
- 1 これからの「良い会社」とは
- 2 「CSR/CSV/ESG/SDGs」の本質的・体系的理解
- 3 サステナビリティ時代の「経営の視座」
- 4 企業ブランディング超入門
- 5 競争優位の源泉 「CSRブランディング」 とは何か
- 6 **グループワーク**
- 「CSRブランディング」メソッドに基く、事例研究
- 7 社員の心に灯をともし！インターナルブランディング
- ～従業員エンゲージメントは、「人的資本」を高める
- 8 企業価値を高める「CSRブランディング」
- 9 「サステナビリティ経営」のご利益

※内容・受講形態は変更される場合があります。あらかじめご了承ください。